

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	入札制度一般管理事業												
事業担当	所属	08010000 財務部 契約監理課					所属長	岩間 信之					
会計情報	事業コード	810490	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	66	頁
施策体系	施策コード	070103	施策名	課題への対応力を強化する体制づくりを進める									
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	○「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、本市が発注する建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性と公平かつ公正な競争を確保する。 ○入札における透明性・公平性・公正性・競争性のさらなる向上を目指すとともに、市内中小企業の受注機会の拡大やそれに伴う地元雇用の創出、適正な労働条件の確保を目指すため、入札制度の見直しを行う。												
対象者	建設工事及びコンサルタント業者	対象者数	1,304	単位あたりコスト	5.8								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	○福知山市が発注した建設工事に関して、入札及び契約の手続きの運用状況などや一般競争入札、指名競争入札に係る参加資格の設定理由及び経緯などについてを入札監視委員会で審議する。 ○入札監視委員会では、福知山市建設工事苦情処理手続要綱に基づき再苦情処理を行う。 ○施工中の入札制度を評価・検証し、今後、福知山市が実施していくための改善方法について、入札制度改革等検討委員会で審議を行う。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬	135	入札監視委員会及び入札制度改革等検討委員会の委員報酬										
	旅費	68	委員等実費弁償及び事前協議旅費										
	使用料及び賃借料	8	事前協議に伴う高速道路通行料										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	446	455	456	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0		
小計(①～③)	446	455	456			
予算財源内訳	① 一般財源	446	455	456		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	△ 153	△ 120	0	0	
	② 配当予算	293	335	0	0	
	③ 執行額	293	211	0	0	
	④ 執行率	100.0%	63.0%			
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.95 / 0.10	0.90 / 0.05	0.90 / 0.05	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	7,850	7,325	7,325	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,143	7,536	7,325	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	意見具申及び再苦情処理	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
	課題の検証	回	1 / 3	1 / 2	1 / 2	/ 2	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入札監視委員会	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		107.0	146.4	105.5		
	再苦情処理	回	0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
単位あたりコスト		-					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	○契約の過程や契約の内容の透明性の確保・維持のためにも、取り組む必要性は非常に高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	○経費縮減可能な対策はすべて行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	○調達方法の基準や発注基準など、一定ルール化された中で、入札や契約を行っているが、委員会の審議を経ることでその過程などの公平・公正・透明性を確保し、検証することができた。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>○入札監視委員会を年2回開催して、本市が発注した250万円以上の建設工事の入札及び契約の過程並びに契約の内容について、またプロポーザル方式の手続き及び契約の過程並びに契約の内容について、委員が抽出した10件について審議が行われ、公正性などについて確認された。</p> <p>○入札制度改革等検討委員会において、入札制度や入札結果等の検証を行い、また入札不調対策のスキームについて審議した。また、入札の検証を行うことにより、入札制度が適正であることが確認された。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>○建設工事の入札及び契約の過程などは、入札監視委員会の審議を受けて検証を繰り返す。</p> <p>○「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、入札及び契約の過程などの検証を継続する。</p> <p>○入札制度改革等検討委員会は、検証・評価を繰り返しつつ、社会経済情勢を鑑みて見直しを行っていく。</p> <p>○入札制度改革を求める決議などの趣旨を踏まえ、改革課題についての審議が完了するまで現状維持で進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		<p>予算編成に記入 (3次公表時)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	契約検査一般管理事業												
事業担当	所属	08010000 財務部 契約監理課					所属長	岩間 信之					
会計情報	事業コード	810435	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	○福知山市が発注する建設工事及び設計等業務委託の入札において、電子入札を効率的に使用して、競争性・透明性・公平性・公正性の向上を図る。 ○多種多様な入札制度の導入や検査体制の充実などについて、入札、契約や検査の指導的立場となって担当職員研修などを行うことにより、公共工事などの品質確保を図るとともに、コスト縮減を目指す。 ○建設工事・設計等業務委託・役務・物品の入札参加申請及び資格審査の窓口を一本化し、効率化を図る。												
対象者	建設工事及びコンサルタント業者	対象者数	1,304	単位あたりコスト	46.3								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	○福知山市が発注する建設工事及び設計等業務委託の入札に京都府電子入札システムを活用して行い、その工事・業務の契約検査を行う経費。 ○電子入札により公正・公平で透明な競争性のある入札を実施する。また、落札決定をした工事などの契約及び検査を実施する。 ○建設工事・設計等業務委託・役務・物品の入札参加申請及び資格審査の窓口を一本化して、申請者の利便性の向上を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	報酬、職員手当等、旅費	1,056	臨時職員報酬、研修旅費										
	需用費	363	設計積算資料や入札契約事務に係る消耗品等の購入										
	役務費	328	電子入札通信料や業者への電話連絡、郵送料										
	使用料及び賃借料	905	京都府電子入札システム使用料、コリンズ・テクリス年間契約料、複写機使用料										
	負担金補助及び交付金	193	京都府電子入札システム費用負担金、研修参加負担金										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,708	2,748	2,748	2,735	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	2,708	2,748	2,748	2,735						
予算財源内訳	① 一般財源	2,708	2,748	2,748	2,735					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 654	1,034	1,034	0	0				
	② 配当予算	2,054	3,782	3,782	0	0				
	③ 執行額	2,054	2,845	2,845	0	0				
	④ 執行率	100.0%	75.2%	75.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	6.90 / 0.90	6.90 / 0.95	6.90 / 0.95	6.90 / 0.95	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	57,450	57,575	57,575	57,575	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	59,504	60,420	60,420	57,575	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電子入札使用上下水道部負担分	種類	雑入	実績金額	1,248	決算付属資料	48	頁	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	不正な入札(談合情報の有り含む)	件		0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	入札実施件数	件	357 / 450	414 / 450	363 / 450	/ 450	450
	単位あたりコスト		3.9	5.0	7.8		
	電子入札実施件数	件	251 / 330	292 / 330	261 / 350	/ 450	350
単位あたりコスト		5.6	7.0	10.9			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	○入札の透明性、公平性及び公正性の向上、さらに不正な入札を防止するものとして、引き続き電子入札を執行する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは適切な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	○担当職員に、多種多様な入札制度の導入や検査体制の充実に関する研修等を行うことで、公共工事などの品質管理を図るとともに、コスト削減を実施。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	○電子入札を執行することにより、談合防止が図られ、入札の透明性が向上する。また、入札参加者の利便性が高まり、公平性、競争性が確保される。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>○設計金額250万円以上の建設工事とコンサルタント業務を全件電子入札にすることで、入札の透明性及び公平性・公正性、競争性を確保できている。また、入札参加者の利便性の向上を高めることができている。</p> <p>○各業種の入札参加申請の受付窓口を一本化することにより、申請業者の利便性が向上できている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>○令和3年度より、設計金額250万円未満の建設工事も電子入札にすることで、より入札の透明性及び公平性・公正性、競争性を確保できる。</p> <p>○会社規模が小さい建設業者については、一定の移行期間を設け、電子入札に対応できるよう要請していく。</p> <p>○建設工事全件の電子入札化と合わせて、予定価格の公表基準や組織体制などの課題について検討する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)